

1 家庭学習のねらい

- ①子どもに、家庭での学習習慣を身につけさせること
- ②子どもに、自発的な学習意欲を伸ばすこと
- ③子どもに、基礎学力を身につけること

特に、「学習規律を身につけること」は大切です。小学校のうちに机（自分が勉強する場所）に向かう習慣を身に付けることが将来に大きく役立ちます。

2 家庭学習のさせ方

- ①担任から出る「宿題」を最初にさせて下さい。
 - ・本読み、プリントやドリルでの計算練習、プリントやドリルでの漢字練習など
 - ・下敷きを敷いて、とがった鉛筆で、丁寧な字で書きましょう。（予習・復習）
- ②時間が余ったら、自主学習をしましょう。
- ③どうしても勉強にあきてしまうときは、読書でも何でも構いませんので、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣がとても大切です。

3 時間のめやす

- ・低学年【20分～30分】
- ・中学年【40分～50分】
- ・高学年【60分～90分】



4 家庭学習における保護者の役割

①学習時間の確保

塾、習い事、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身につけさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合っ、無理のないように時間設定をしてください。

②学習環境の整備

例えば、テレビをつけながら勉強しても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境で学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

③声かけ・見届け・励まし

子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかける。褒めたり励ましたりしてやることで、お子さんはどんどんやる気を出します。1週間に1回は、コメントを書いてあげたり、スタンプを押してあげたりなどの見届けをお願いします。また、お子さんの様子を把握しながら、できるだけいっしょに取り組んでくださるようお願いいたします。

④学校との連携

お子さんの学習の様子は、どんな小さなことでも担任にお知らせください。

- ・わからないこと、困っていること。
- ・家庭でがんばっていることなども、担任に教えてください。
- ・ノーテレビ、ノーゲームデーを推進するようお願いいたします。

5 家庭学習における学校の役割

①各学年で大切にしたい学習内容のお知らせ

学習はすべて大切ですが、学年で特に大切な内容のものがああります。それらについては、適宜、通信や懇談会等でお知らせします。

②具体的な学習の取組のお知らせ

家庭学習の具体的な取り組み方を機会をみて児童に教えたり、懇談会等でお知らせしたりしています。

③宿題を忘れた児童の指導

宿題をするのを忘れた児童については、その日のうちに（休み時間等）させるように、学校全体で取り組んでいます。